



校長だより



日中丸



第32号
H30. 2. 23

日間賀中学校長
鈴木 康弘

卒業記念「島ごはん」 2.20(火)

日間賀漁業協同組合と日間賀島観光協会のご厚意により、「島ごはん」を開催しました。今年度で6回目となり、毎年、卒業を間近にした3年生にとっては心に残る思い出となっています。会食に先立ち、漁業協同組合の代表の方からは、「島のことを忘れずに、卒業後もがんばってください」とエールをいただきました。また、観光協会会長さんからは、「『島ごはん』は、先輩たちのよい思い出となっている。この取組が続いていくことを願っている」という思いをお聞かせいただきました。

全員で「いただきます」をした後、日間賀島の皆さんの温かさとお海の恵みに感謝しつつ、おいしくいただきました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

今回のメニュー

鯛の刺身 てっさ たこの丸茹で 茹でエビ たこめし 味噌汁



キャリア教育学習会 2.20(火)

日本福祉大学附属高等学校野球部長の山本常夫先生を講師に、キャリア教育学習会を開催しました。甲子園出場校の監督などこれまでの豊富な経験の中から、貴重なお話をいただきました。どんな経験もその人に人生にとっては無駄なものはないこと、生まれ育った故郷を大切にすることなど、これからの生き方に参考となることをたくさん教えていただきました。



朝会より 2.19(月)

生徒発表（2月のテーマ：1年を振り返って）

田中翔也さん（2年）

1年を振り返って思うことは、この1年はとても濃い1年であり、たくさん学べた1年でもあったということです。

こんな中で今年一番学べたのは、林間学校です。林間学校では、時間を見て行動することやクラスで団結して一つのことを成し遂げたりするなど、これからのことでとても大切なことを学ぶことができました。この学びを次に生かせるよう努力していきたいです。

来年からは受験生になります。きっと今より勉強が難しくなっていくと思うので、その分普段の授業での学びを次に生かし、自分の幅広い進路につなげられるようにがんばっていきたいと思います。来年も、たくさん大切なことを学んでいきたいと、改めて思いました。

岡村雅浩教頭先生の話

こんな話をしてくれました。

先日、平昌五輪フィギュア男子で、羽生・宇野選手の金銀メダルをとった瞬間をテレビで見ている、中2の息子とスポーツの楽しさと感動を分かち合っていました。その時、ふと中学生の頃の部活の顧問の言葉が頭にうかんできました。

「雑草魂」

小学生の時は野球に夢中でしたが、中学校へ入学してからは、バスケットボールを始めました。入部した当初は、バスケがブームになりかけた頃で、入部すると背が高くなり、足も細く長くなると言われ、私はそれを信じて入部しました。入部した多くの仲間も同じでした。

新チームになり、ある練習試合で、いつものようにぼろ負けをしたあと、顧問の先生が全員を集めて次のようなことを言いました。

「今は目立たない弱小チームだが、半年後には強いチームにしたい。君たちは『雑草』と同じ。いろいろな困難に打ち勝ち、最後まで勝負にこだわる雑草魂をもったチームにしたい。」そして「一週間以内に、全員 坊主頭で集合！」そして、一日、二日経つにつれ坊主頭が増え、一週間後には、全員が坊主頭となりました。

半年後には、多くの学校から練習試合を申し込まれるチームになりました。最後の郡大会は、強豪校に、わずかの差で負けてしまいましたが、最後まであきらめず戦い続けることができました。

その後、「雑草魂」は私の座右の銘となりました。



校長の話

こんな話をしました。

先週の水曜日に、3年生が愛校作業として、体育館のワックスがけと2階廊下の壁のペンキ塗りをしてくれました。3年間お世話になった中学校に感謝の気持ちを表わそうと、取り組んでくれました。作業が終わった体育館や廊下を見ると、その思いが十分に伝わってきます。3年生の皆さん、ありがとう。

愛校作業は、毎年、この時期に3年生が行っていることです。作業内容は違いますが、感謝の気持ちを表してくれています。その気持ちが今の、きれいな中学校の環境に表れているのだと思います。君たちの先輩が残してくれた、この中学校を大切に使うってほしいなあとと思います。

